

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

2015 年度の 生協の主な日程が決まりました。

(1/26 第 9 回理事会)

4月新センターへ引越・機器類運用テスト、旧センター現状回復
5月センター稼働、新センターから供給開始
→ 5/23 (土) 生産者向け物流センター運用説明会、品質管理検討会・生産者総会

○ 6/13(土)第42回総代会(新本部にて) 「協同組合中期事業計画 (2025 年ビジョン)」提案

総代会終了後、午後から

組合員さん新本部・配送センターご案内

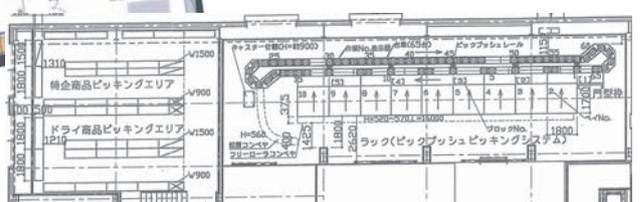
※組合員室・調理室は4月中旬より利用可能となります。委員会、集い、交流、自主企画にどうぞご利用下さい。

○9月「40周年記念レセプション」




←玄関から2Fへ

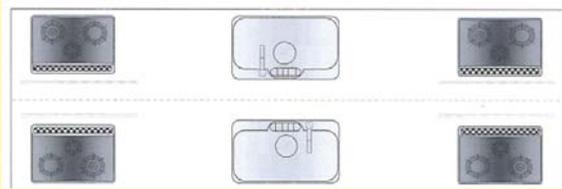
2F東側にラウンジ、組合員室・調理室・商品検査室
西側に印刷室、事務室、会議室、図書資料室、倉庫



1F商品仕分け、個人別ピッキングパース (左がドライ・雑貨ライン、右が冷蔵・冷凍低温仕分けライン、手前に冷蔵庫・冷凍庫、入口に野菜予冷室)

【調理室は対面アイランドです】

組合員のみなさん、生産者のみなさん、台所・食卓の交流に、講習会にぜひ活用下さい!



40周年「わたしの生協 ひとことメッセージ」(組合員) 4

〇心配なのは生産者の後継問題

いつもおいしい食材をありがとうございます。今後も恒久的にいい食材を提供していただきたいです。心配なのは、素晴らしい牧場や農場の後継者問題です。生協を中心に今からでもその問題に取り組んでいただければと思います。もう一つは牧場・農場に従事する方の所得向上です。地域密着も大事ですが、茨城空港も活用して外への営業も必要ではないでしょうか。(流山市 Kさん)

〇おいしいが健康につながってる!

野菜1つでも時々、この野菜ってこんなにおいしかったんだと思うことがあります。でもその美味しさの裏で生産者のたゆまぬ努力があるのですね。最初常総生協から鈴木さんのヨーグルトをもらい美味しさに感激して生協に入りました。今我家ではほとんど生協さんのもので生活していますが、美味しいが、健康につながっているような気がします。(柏市 Yさん)

〇農業を応援したいと

震災後、原発事故による農作物への風評被害のニュースを多く目にし、農業を応援したいというおこがましい気持ちから、生協に入ってみようと思いました。入ってからは、常総生協の食の安全に対する取り組みのおかげで食卓が色々な意味(食材や安心感など)で豊かになってきているように思えます。応援というより自分達の方にプラスになっているばかりですみません。いつも遠くまで配達に来て下さってありがとうございます。スタッフの方の笑顔や電話の優しい声などがこれからも変わらないとうれしいです。(松戸市 Hさん)

〇あきらめずに暮らしてゆく

いつもいろんなことを教えてくれてありがとうございます。ホットスポットになってしまった我孫子であきらめずに暮らしていけるのは常総生協さんがいてくれるからです。これからも宜しく願い致します。(我孫子市 Tさん)

〇母からずっと

私は、兵庫県西宮市の出身で、実家のそばに灘神戸生協の店がありました。母がずっと生協の組合

員です。だから、結婚して関東・九州・東北・関西と移り住みましたが、ずっとその生協組合員になりました。利根町に来て20年、すぐ生協を探しました。最初に宅配してくれた千葉の組合がつぶれることになり、紹介されたのが常総生協でした。ずっとお世話になっています。サツラク牛乳は孫も大好きです。(利根町 Kさん)

〇話を聞いてそのまま入会

以前も他の生協には入会していたのですが、現在の所に越して来まして、どこかに入ろうかと思っていましたところ勧誘に来られ、話を聞きまして、そのまま入会致しました。(期待通りの生協で満足しております。)。組合員になって28年になります。放射能や農薬その他真剣に取り組んでいただき安心して購入できる場所です。これからも今までのように私たちのことを考えて、ますます食への追求をやってくれると思います。期待しております。(土浦市 Oさん)

〇ストレスを感じません!

3.11の後、子供に安全な食べ物を食べさせたいと考え常総生協の会員になりました。会員になって年が経ち、息子も4歳になりました。常総生協の好きなのは、カタログに載っている物すべてが安全、安心であるところです。スーパーでは「これは何がはいってる?」「これは大丈夫?」と悩みながら買い物しますが、常総生協はどれを買っても大丈夫なので、ストレスを感じません。これからも安全・安心を提供し続けて頂きたいです。今後ともよろしくお願いします!(常総市 Oさん)

〇平和で安全平等な社会がいちばん

戦争・原発に反対する姿勢をとり続けている所が素晴らしいと思います。平和で安全平等な社会が一番。常総生協にがんばってほしいです。(守谷市 Iさん)

〇母親になって姿勢が変わってきました

母親になって少しずつ食に対する姿勢が変わってきました。「本当に美味しいものを食べる」体を作る、心を作る食事。そういう大切なことを日々教えていただいています。常総生協さんという仲間と

共に歩んでいけることを心強く、ありがたいなあと思います。(守谷市 Yさん)

○当時は・・・。ひたすら頼ってますよ

入会して30年数年、まだ生協が少なかった時代です。当時は灯油などもあつかいましたよ。常総生協の基本姿勢が変わり(決まり?)、食の安全に重点が置かれ、安心して購入しております。一度も浮気せずに、ひたすら常総生協さんに頼っております。職員の皆さん、いつも有難うございます。(取手市 Sさん)

○思いは変わりません

生協に入って30年以上になります。当時子育ての真っ最中で少しでも安全な食品をと入会しました。今は老人の2人暮らしで、注文の数もぐんと減りましたが口に入れるものは出来るだけ良質の物という思いは変わりません。これからもよろしくお願ひします。(取手市 Mさん)

○ダイオキシン問題、アサザ・・・

1997年4月12日に東京から牛久に引っ越してきて17年。どうやって常総生協に入ったのか、結婚以来ずっとつけている日記を引っ張り出して調べたら、4日後の4月16日に常総生協の男の人が来たと書いてあり、その日に組合員になったとある。たぶん勝矢さんと思われる。私のかすかな記憶では(東京で組合員兼商品担当係を東都生協で長年やっていて)引越しが決まってから無農薬、無添加を扱う茨城にある生協を東都生協さんに探して

もらって紹介を受けそれで勝矢さんがたずねて来たと思います。それとも偶然来たのでしょうか?はや17年がたちました。配達職員さんもたくさん変わりました。でも皆さんクリーンで真面目。いい印象の方達ばかりです。色々な行事にも参加させて頂きました。ゴミ処理場問題。ダイオキシンの奇形のカエルとり、アサザ、牧場訪問、キムチ料理作り、福神漬作り etc. 楽しかったです。ありがとうございます。(牛久市 Aさん)

○常総生協の組合員で良かった

つくば市に越してきて、間もなくの頃、ポストにチラシが入っていたのがはじまりです。生協に興味があり、この機会にと常総生協の仲間に入れてもらいました。いろいろな情報を得て、私としても勉強していくうちに、一言で生協と言ってもたくさんあることも知り、また知っていくうちに常総生協の組合員で良かったと、今にいたっています。食の安全について信用し、また信頼していますので、これまで通りよろしくお願ひします。(つくば市 Nさん)

○30年、心から応援

生協さんとのお付き合いは、30年になると思います。合成着色料のない食品を家族にあげたくてお付き合いが始まりました。その間、大変お世話になり感謝しています。又、これからもよろしくお願ひ致します。常総生協さんの取り組みに心から応援しています。(つくばみらい市 Hさん)

40周年「わたしの生協 ひとことメッセージ」(生産者) 4

○【ニッコーさん】(神奈川県大和市)

冷凍食品



子どもたちが安心して食べられる冷凍食品をと、原料素材にこだわって、とうとう自社農場を作ってしまったニッコーさん。農場にて撮影。真ん中が創業者の会長さん。左が息子さんの現社長。右が農場責任者。

弊社と常総生協との付き合いは20年以上になります。弊社の食に対する考え方と常総生協の考え方が一致し、取引が始まりました。常総生協の大好きなところは、考え方がブレないところです。組合員に対しこれほど真剣になって安全と安心を考えている生協は少ないと思います。低価格を追求し、安全基準が緩くなっていく傾向がある中で考え方がブレない常総生協が大好きです。常総生協の独自性を更に多くの人々に伝えていけば、もっともっと活性化すると思いますので、生産者と生協が手を取り合って盛り上げていければと思っております。

○【杉山農園さん】（茨城県石岡市）有機卵

常総生協さんに卵を出させてもらうようになって10年以上になります。「消費者」というよりも「生活者」としての厳しい目線で物を選んでいく生協、と感じています。



が、それだけではなく生産者の立場にもできる限り寄り添おうという姿勢もありがたいです。だからこそ、生産者の方も信頼に込められる物を作っていこうという気持ちになります。震災・原発事故以降はまさに本領発揮。「暮らしを守る生協」さんを生活者としても生産者としても頼りにしています。杉山農園（やさとの仲間 卵部）

○【ハイム化粧品さん】（千葉県松戸市）化粧品

ハイム化粧品は2007年倒産時、一番最初に「激励」のFAXを頂いたのが常総生協さんでした。白黒のチラシを作り工場倉庫に残った商品を常総生協の組合員に購入して頂くところから、新生ハイム

化粧品はスタートしました。生産者と共同で、厳しく、やさしく、本当に一緒に歩み続ける常総生協のみなさん40周年おめでとうございます。

すでにニュースレターで第一報いたしました通り、ハイム化粧品が自己破産となりました。現在、社員による再建委員会から新会社が設立され、事業を引き継ぐ準備がすすめられています。

常総生協は社員による自主再建を支持し、新会社から商品を仕入れる方針であります。私達常総生協も長くお世話になってきましたので、事業が譲渡継続できるよう激励を送りました。

新会社による工場の方の稼働は、薬事法にもとづく製造許可申請を経て10月稼働をめざしていることとの連絡をもらっています。

今後につきましては、いましばらく見守って頂きたく存じます。（2007.8.27 専務理事 大石）

2007年8月8日常総生協はハイム職員さんによる再建委員会を支持・支援表明。上記は8月27日付ニュースレターでのハイムさんについての組合員へのお知らせ。組合員がしっかり見守ってくれました。

「わたしの生協 ひとことメッセージ」（職員）1

○供給部 矢島裕也（32歳）

○生協に入って仕事して：7年。

○常総生協の「良い点」： 简单便利の為に世間的に隠されてしまう情報（真実）を伝え組合員の判断を仰ぐところ。

○「弱い点」： 外部へのPR。

○仕事に生き甲斐を感じていますか？ はい、感じます。

○会って話したい生産者は？ 野菜セットを出荷してくれている生産者の方々。天池さんや長嶋さんとはお話をしたことがあります。清水さんの畑には行ったことがないのでぜひ行きたい。

○組合員・生産者へ： 組合員の方々へは、私の知りうる限りの情報をしっかりと伝えていきますのでこれからもよろしくお願ひします。生産者の方々へ： 皆さんの想い・こだわり・おいしさを実際に私も目にして、食して、生産者の方々の方たちの力になれるよう組合員の皆さんにお伝えします。



○供給部 伊藤博久（31歳）

○入協して6年目になります。

○昨年からは供給部のリーダーに就任し、日々奮闘しています。常総生協は良い意味で小さい生協として、信念を持ちながら商品への取り組み、地域活動ができていると思いますが、逆に小さくまとまっている所で、幅広い年齢層への支持が低く改善への取り組みが弱いです。

○そこに携わり、1歩1歩でも良い生協にしていこう。新しい事にチャレンジしていくことが目標でもあり、仕事のやりがいを感じています。

○私自身宮城県出身者ということもあり、藤井養蜂の三浦さん（仙台出身）、お米の黒澤さんと宮城出身の生産者、東北の生産者の方たちの力になれるよう頑張ります。

